

# 高鍋ロータリークラブ 会報



会長 石田 喜克  
 副会長 武末 喜久治  
 幹事 岩切 洋  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 例会場 ホテル泉屋 2F  
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4  
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第 1836 回 平成 26 年 5 月 29 日プログラム

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘        | 7. BOX披露   |
| 2. ロータリーソング   | 8. 各委員会報告  |
| それこそロータリー     | 9. 地区協議会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間      | 11. 点 鐘    |
| 5. 幹事報告       |            |
| 6. 出席報告       |            |

2730 地区ガバナー 大迫 三郎

中部分区ガバナー補佐 尾崎 敏弘

第 2730 地区テーマ

『職業奉仕の実践』『感動』

高鍋ロータリークラブテーマ

『みんなで力を合わせて行動を』

5 月の月間テーマ

次年度準備月間

## 本日の例会案内

- \* 地区協議会報告
- \* 会員卓話
- \* 100 万ドル

## 次週例会案内 ; 6 月 5 日 (1837 回)

- \* 月初めのセレモニー
- \* 米山 BOX
- \* R 情報便り
- \* 雑誌紹介

## 第 1835 回 例会内容

### 高鍋ロータリークラブ明倫賞授賞式



### ■会長の時間

会長 石田喜克君

先週は、福岡出張の為に欠席させて頂きました。

任期終了前に2回も欠席をして大変申し訳ございませんでした。まだ終わっておりません。今週 24 日土曜日に新企画の『チャレンジしましょう!』を実施致します。

秋山商店前に午前 8:30 分の集合で、10:00 開会を致します。障害を持った方々 20 数名と、住吉南小学校生 20 名の方々と、サーフィン、ジェットスキー同乗、タグラグビーを体験して頂きます。是非、参加して頂きまして交流を図って頂きたいと思っております。

昨日の夜は、中部分区の勉強会に尾崎ガバナー補佐、岡島地区研修委員、岩切幹事、の4名で参加して参りました。財団関係の勉強をみっちり受講して参りました。

講師は、昨年当クラブに招聘致しました、宮崎西 RC の喜島健一郎君でした。分かりやすく未来の夢計画のこと、DG と GG の違いなどを教えて頂きました。この件に関しましては、私以外の3名にレクチャーを受けて下さい。宜しくお願い致します。

本日は、明倫賞の授与式をこの後に設定しております。高鍋ロータリークラブの明倫賞規定で定められている、



職業奉仕の理想を具現化し、地域社会の範となる個人・団体に贈呈する。と記してあります。ここ数年は、団体への贈呈が多かったのですが、今回、佐藤明治氏個人への贈呈が決定致しました。誠にありがとうございます。

本日も、ロータリーを楽しみましょう！

■幹事報告 <文書案内>

幹事 岩切 洋君

\*6月のロータリーレート

1ドル=102円

\*地区研修・協議会参加のお礼

\*第4回ロータリー勉強会案内

日時 平成26年7月16日

18:30~20:55

場所 ホテルマリックス

\*佐土原RCより6月の例会案内



■出席報告

出席委員長 野田俊一君

出席状況 (5/22)

会 員 数	48名
出席会員数	38名
ホーム出席率	80.85%
前々回の修正出席率	89.36%



■BOX披露

親睦活動委員長 木浦亨英君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

石田喜克君 佐藤秋治様の明倫賞授賞を心よりお祝い申し上げます。田中部長様の卓話を楽しみにしております。

尾崎敏弘君 種雄牛のアワレミを聴かせて下さい。楽しみにしています。

福本幸良君 県家畜改良事業団OBの佐藤様、現役の田中様をお迎えしまして。講話の方よろしくお願致します。



☆外部卓話

宮崎県家畜改良事業団

管理部長 田中正成 様

本日は、私ども（一社）宮崎県家畜改良事業団を3月末で定年退職された佐藤氏に栄えある明倫賞を授与頂きましてありがとうございます。同氏は約40年の長きにわたり種雄牛の飼育管理と調教という重要な業務に携わり飼養管理においては常に最適な健康管理に努め、調教では全国和牛能力共進会で上位入賞を果たすなどし、その技術を後進にも丁寧に指導していただきました。事業団は昭和48年に現在の高鍋町持田に事業所を設置以来、県有種雄牛を1か所で集中管理している全国的にも類を見ない事業体であります。主な業務は優秀種雄牛の造成と凍結精液の製造・譲渡であり、県内7カ所の改良協会に凍結精液ストローを供給しています。黒毛和種の子取り用雌牛は全国的に農家の高齢化・後継者不足等により、減少傾向にあり、宮崎県もその例外ではなく、口蹄疫とも重なり減少してきています。

子牛価格については、過去10年以上、常に全国平均を上回って推移しております。これは、優秀種優牛を共用することによる肥育素牛としての全国的な評価が高いためだと思います。

その一例として5年に1回開催される全国和牛能力共進会では第9回及び第10回開催で連続して内閣総理大臣賞を受賞し、2連覇を達成しました。

優秀な種優牛の造成には、能力が判明するまで最短でも5年~6年かかり、種雄牛としてフルに共用できるのは7年~8年しかありません。これまでは、黒毛和種の能力の中で産肉性、特に脂肪交雑の能力に関して改良を進めてきました。結果として、脂肪交雑の能力は目を見張るほど向上しています。今後は肉牛本来のうまさ・おいしさ、あるいは健康志向等消費者の新たなニーズに対応しなければならないものと思われまます。そのため、DNA情報を活用した新しい改良手法なども用いて肉用牛の改良を進めています。また、宮崎牛の定義もこれまでの肉質等級4等級以上だけでなく、1年後には宮崎生まれの宮崎育ちであることなど新しい取り組みもなされています。

本日は、佐藤氏に対し明倫賞を授与いただきましたことと、このような機会をいただきましたことに対しまして、あらためて感謝申し上げます。

6月の例会案内

- 6/5 月初めのセレモニー・雑誌紹介・R情報便り
- 6/12 クラブ協議会（年間報告） 血圧測定
- 6/19 クラブ協議会（年間報告）次年度プログラム委員会
- 6/26 年度最終例会 三役挨拶・G補佐挨拶・地区委員挨拶



SAA 井上博功君



職業奉仕委員長 福本幸良君

<情報の広場>

このコーナーでは、親睦に役立つ情報を常に募集しています。

<クラブ会報委員会より>

ゲストの田中様のお話をうかがい、明倫賞を受賞された佐藤様や関係者の皆様への努力には、本当に頭が下がります。TPPやWagyuなど大変な障害があるかと思いますが、素晴らしい宮崎牛が、世界中の人々から愛され続けることを願ってやみません。